

上田 勉

福島第1原発の爆発事故一人の生活や生業（なりわい）、ふるさとの全てを奪う

震災関連死者数（津波や原発事故が起こらなければ死ななかつた人の数）は、3,087人で3千人を超えました。東北3県では、福島県が断トツです。福島県では遂に、震災関連死者数が震災死者数（自然死）を上回りました。

福島の被災者は、5・6回避難先を変えました。高齢者や病人は、移動する度に体力を消耗して亡くなりました。また、故郷に帰れないことを悩んでの自殺者もいます。

原発事故は、人の命を奪っただけではありません。生活や生業がなくなり、地域やふるさがなくなり、歴史や伝統・祭りも一瞬にしてなくなりました。

NHK テレビで、歌声のボランティアで、仮設住宅を訪問している人が言っていました。「福島の仮設住宅では、“ふるさと（兎追いし彼の山 小鮒釣りし彼の川〜）”の唄は歌えないんです。“ふるさと”を歌うと、（被災者の）皆さんが泣き出すんです」

	岩手県	宮城県	福島県	全国 計
①震災死者数	4,673	9,538	1,611	15,889
②行方不明者数	1,132	1,269	204	2,609
③震災関連死者数	441	889	1,704	3,087

①②は8月1日現在、警察庁まとめ ③は3月31日現在、復興庁まとめ

常磐線—6月1日から広田駅⇄竜田駅間（2駅間）が復旧

常磐線の広田駅⇄竜田駅間が6月1日から復旧したので、6月28日に竜田駅まで行ってみました。

いわき駅からは2両編成の電車で、終点の竜田駅で降りたのは、6人でした。私を含めて全員が旅行者か作業員で、地元の人はいませんでした。

駅前は無事です。家はありましたが、時間は止まったままでした。

帰りの電車の中で、地元のおじさんと話をする事ができました。

「広田町には1,500人ぐらいしか戻ってきていない。空家には泥棒が入った。家はネズミで荒らされている。自分は東京電力の関連会社で働いている。ここでは皆なが東京電力の関連会社で働いているので、東電の悪口を言う者はいない。

北隣の富岡町は、避難区域になっている。Jビレッジは東京電力の管理になる。この辺に店はないので、自分分は通勤の帰りに買い物をして帰る。あれが災害公営住宅だ。津波で被災した人から、順番に入居することになっている。」

私が気仙沼の被災地の話をすると、「三陸の人たちも家を流されて大変だ」と言われました。私は「三陸の人たちは、津波（天災）で家が流されたので、あきらめがつきます。しかし、福島の人たちは、原発事故（人災）によって、家があっても帰る事ができない。三陸の人達は、福島の人達にとっても同情してますよ」と言いました。

【駅で降りた乗客に、地元の人はいません（JR常磐線竜田駅）】



【街の通りに人影がありません一時間は停まったままです】

